

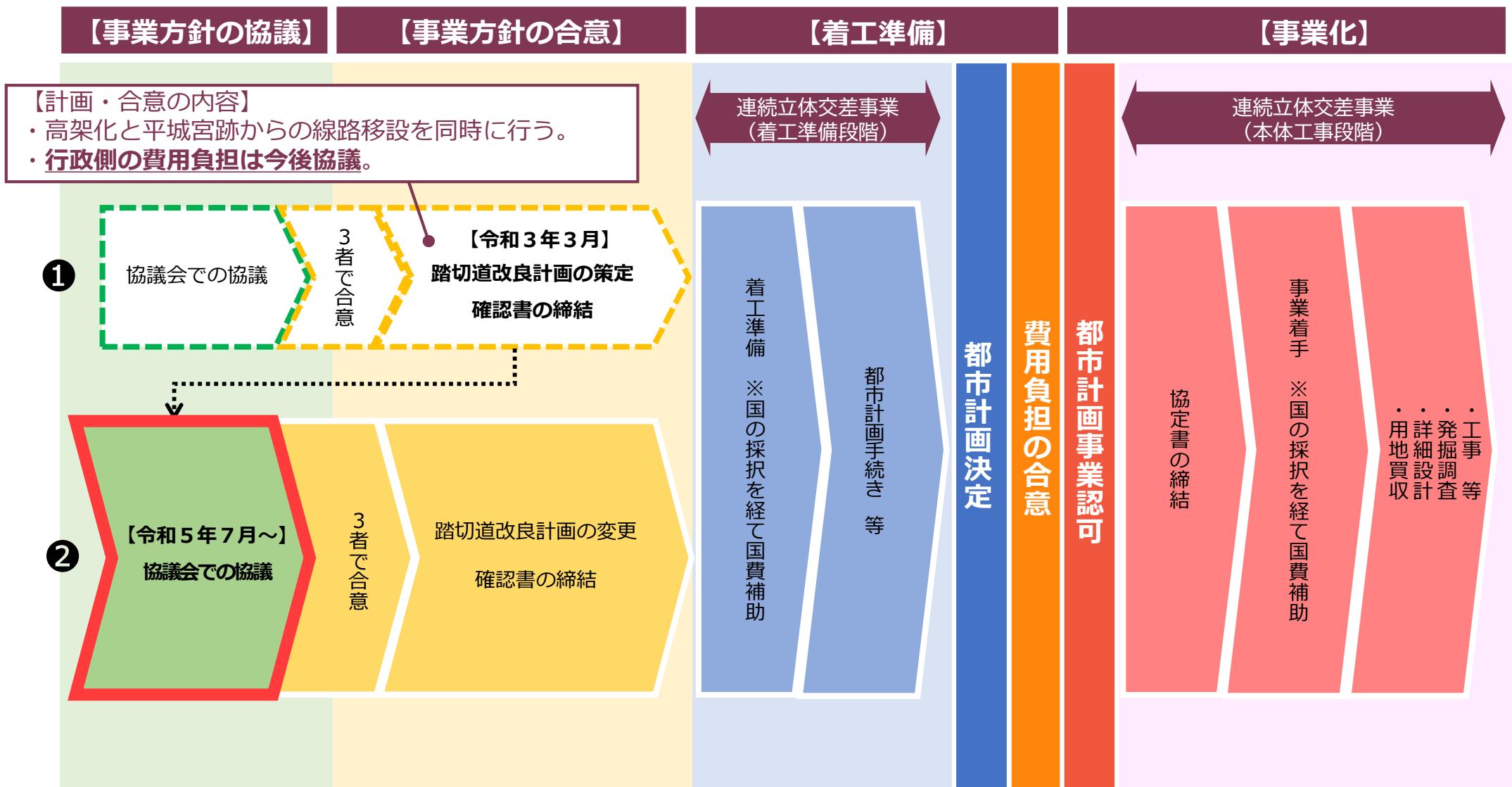
①大和西大寺駅周辺の渋滞踏切道対策を検討する会議の進め方について

■ 基本的な検討の流れ(案)の確認

- 交通動態調査による実態把握
- 現況の整理、必要性検証
- 事業方針、周辺整備の検討
- 概略設計(仮案)
- 経済効果の整理
- 概算事業費の算出
- 速効対策の検討

事業化までのプロセス

- 高架化の事業化に至るには、事業方針の協議のほか、踏切道改良計画の変更、着工準備など多くの過程。
- 今はまだ「協議の入口」。まずは高架化を行うのか、平城宮跡からの線路移設は同時に行うのか、などの事業の方向性から確認していく協議が必要（令和3年に計画を策定した際と同様）。



基本的な検討の流れ（案）

- 大和西大寺駅の高架化については、概算事業費を算出等するためにも、まずはその目的や必要性を整理した上で、事業方針や高架化を契機とした周辺整備の可能性を検討する。
- 高架化が行われるまでの速効的な対策についても、これと並行して検討を進める。

